

I. 次の曲中に指定した各音（イ）～（ホ）のドイツ音名を記せ。

II. 次に示された（イ）～（ホ）の2音間の音程を（A）欄に記せ。また、それと同じ音程をなす音を、（イ）～（ハ）については（B）欄に示された音の上方に、（ニ）・（ホ）についてはその下方に、全音符で記せ。

III. 次に示された（イ）～（ホ）の2音間の転回音程を記せ。

VII. 次の1.～4.の和音について、文中の(a)・(b)に該当する調名(ドイツ語または日本語)または和音の音度記号を、(例)にならって記せ。

(例) 1. 2. 3. 4.

(a) (b)

(例) は、F dur (へ長調) の属調のⅡであり、e moll (ホ短調) の下屬調のⅣである。

1. は、b moll (変口短調) の平行調の(a)であり、(b)の下屬調のⅥである。
2. は、H dur (口長調) の属調の(a)であり、(b)の同主調のⅢである。
3. は、gis moll (嬰ト短調) の下屬調の(a)であり、(b)の平行調のⅠ₇である。
4. は、F dur (へ長調) の同主調の(a)であり、(b)の属調のⅡ₇である。

VIII. 次の楽譜について

1. (A) および (B) の調名を記せ。
2. (A) を調号を用いずに短6度高く移調せよ。
3. (B) を調号を用いて A dur (イ長調) に移調せよ。

(A)

(B)

I.

(イ) _____ (ロ) _____ (ハ) _____ (ニ) _____ (ホ) _____

II.

(イ) _____ (ロ) _____ (ハ) _____ (ニ) _____ (ホ) _____

(A) _____

(B) 

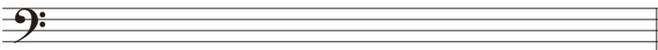
III.

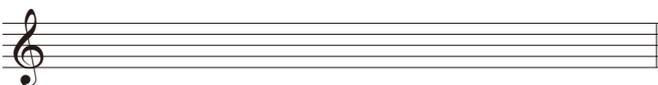
(イ) _____ (ロ) _____ (ハ) _____ (ニ) _____ (ホ) _____

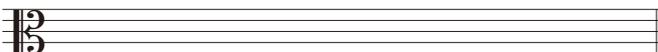
IV.

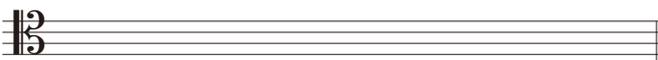
1	2	3	4	5

V.

1. 

2. 

3. 

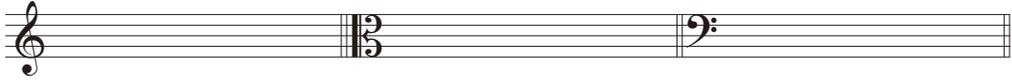
4. 

VI.

1.

2.

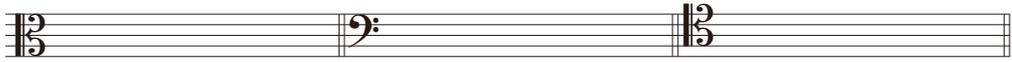
3.



4.

5.

6.



VII.

1.

2.

3.

4.

(a) _____

(b) _____

VIII.

1.

(A) _____ (B) _____

2.



3.



I. 次の曲中に指定した各音 (イ) ~ (ホ) のドイツ音名を記せ。

II. 次に示された (イ) ~ (ホ) の2音間の音程を (A) 欄に記せ。また、それと同じ音程をなす音を、(イ) ~ (ハ) については (B) 欄に示された音の上方に、(二)・(ホ) についてはその下方に、全音符で記せ。

(イ) (ロ) (ハ) (二) (ホ)

III. 次に示された (イ) ~ (ホ) の2音間の転回音程を記せ。

(イ) (ロ) (ハ) (二) (ホ)

IV. 次の楽語の意味について、その右側に書かれた日本語が適当であれば○、誤りであれば×をそれぞれ記せ。

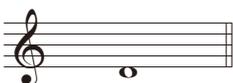
- | | | |
|-----------------------|-------|------------------|
| 1. mezza voce | | 全員で、全合奏で |
| 2. più <i>f</i> | | 今までより強く |
| 3. dolente | | 悲しげに |
| 4. Lento ma non tanto | | 速く、しかし、あまり速すぎぬよう |
| 5. rusticana | | 感情的に |

V. 次の音階を、与えられた譜表上に全音符で、1. 2. は調号を用いて、3. 4. は調号を用いずに記せ。

(ただし、主音から主音まで、上行形のみ)

1.  を音階の第 iii 音とする短調の平行調の音階

2.  を属音とする長調の下属調の音階

3.  を音階の第 ii 音とする短調の下属調の和声短音階

4.  を下属音とする短調の属調の旋律短音階

VI. 次に指定する和音を、1. ~ 3. は下線で指定された調の調号を用い、4. ~ 6. は調号を用いずに、与えられた譜表上に全音符で記せ。

1. fis moll (嬰へ短調) の VI
2. As dur (変イ長調) の下属調の II₇
3. H dur (ロ長調) の同主調の V₇
4. F (へ) を第 5 音とする短三和音
5. Ges (変ト) を第 7 音とする減七の和音
6. Dis (嬰二) を根音とする属七の和音

VII. 次の1.～4.の和音について、文中の(a)・(b)に該当する調名(ドイツ語または日本語)または和音の音度記号を、(例)にならって記せ。

(例) 1. 2. 3. 4.

(a) (b)

(例) は、G dur (ト長調) のⅤであり、a moll (イ短調) の同主調のⅣである。

1. は、Des dur (変ニ長調) の平行調の(a)であり、(b)の同主調のⅥである。
2. は、cis moll (嬰ハ短調) の平行調の(a)であり、(b)の属調のⅡ₇である。
3. は、Ges dur (変ト長調) の属調の(a)であり、(b)の下属調のⅣである。
4. は、Es dur (変ホ長調) の下属調の(a)であり、(b)の同主調のⅥ₇である。

VIII. 次の楽譜について

1. (A) および (B) の調名を記せ。
2. (A) を調号を用いずに増1度高く移調せよ。
3. (B) を調号を用いて G dur (ト長調) に移調せよ。

(A)

(B)

楽典

昭和音楽大学・昭和音楽大学短期大学部(2025年度・学校推薦型・特待生)

I.

(イ) _____ (ロ) _____ (ハ) _____ (ニ) _____ (ホ) _____

II.

(イ) _____ (ロ) _____ (ハ) _____ (ニ) _____ (ホ) _____

(A) _____

(B) 

III.

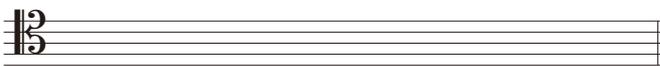
(イ) _____ (ロ) _____ (ハ) _____ (ニ) _____ (ホ) _____

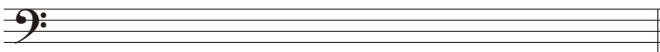
IV.

1	2	3	4	5

V.

1. 

2. 

3. 

4. 

VI.

1.

2.

3.



4.

5.

6.



VII.

1.

2.

3.

4.

(a) _____

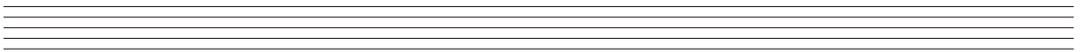
(b) _____

VIII.

1.

(A) _____ (B) _____

2.



3.



I. 次の曲中に指定した各音 (イ) ~ (ホ) のドイツ音名を記せ。

Labels in the score: (イ), (ロ), (二), (ハ), (ホ)

II. 次に示された (イ) ~ (ホ) の 2 音間の音程を (A) 欄に記せ。また、それと同じ音程をなす音を、
(イ) ~ (ハ) については (B) 欄に示された音の上方に、(二)・(ホ) についてはその下方に、全音符で記せ。

(イ) (ロ) (ハ) (二) (ホ)

III. 次に示された (イ) ~ (ホ) の 2 音間の転回音程を記せ。

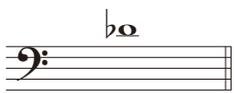
(イ) (ロ) (ハ) (二) (ホ)

IV. 次の楽語の意味について、その右側に書かれた日本語が適当であれば○、誤りであれば×をそれぞれ記せ。

- | | | |
|----------------------|-------|----------------------|
| 1. <i>allargando</i> | | (次第に幅広く) 次第に、遅めながら強く |
| 2. <i>giocoso</i> | | 野生的に激しく |
| 3. <i>elegiaco</i> | | 悲しみを訴えるように |
| 4. <i>una corda</i> | | 弱音ペダルを使用しないで |
| 5. <i>più Lento</i> | | きわめて速く |

V. 次の音階を、与えられた譜表上に全音符で、1. 2. は調号を用いて、3. 4. は調号を用いずに記せ。

(ただし、主音から主音まで、上行形のみ)

- | | | |
|----|---|-------------------------|
| 1. |  | を下属音とする長調の音階 |
| 2. |  | を導音とする短調の属調の旋律短音階 |
| 3. |  | を属音とする長調の下属調の音階 |
| 4. |  | を音階の第vi音とする長調の平行調の和声短音階 |

VI. 次に指定する和音を、1. ~ 3. は下線で指定された調の調号を用い、4. ~ 6. は調号を用いずに、与えられた譜表上に全音符で記せ。

1. E dur (ホ長調) のIV
2. c moll (ハ短調) の下属調のII₇
3. B dur (変ロ長調) の同主調のV₇
4. E_{is} (嬰ホ) を第3音とする長三和音
5. F (へ) を根音とする減五短七の和音
6. D_{is} (嬰ニ) を第5音とする短七の和音

VII. 次の1.～4.の和音について、文中の(a)・(b)に該当する調名(ドイツ語または日本語)または和音の音度記号を、(例)にならって記せ。

(例) 1. 2. 3. 4.

(a) (b)

(例)は、G dur (ト長調)の同主調のIVであり、f moll (ヘ短調)の属調のIである。

1. は、Es dur (変ホ長調)の下属調の(a)であり、(b)の平行調のIIIである。
2. は、g moll (ト短調)の属調の(a)であり、(b)の平行調のIVである。
3. は、a moll (イ短調)の同主調の(a)であり、(b)の属調のVI₇である。
4. は、f moll (ヘ短調)の平行調の(a)であり、(b)の下属調のII₇である。

VIII. 次の楽譜について

1. (A)および(B)の調名を記せ。
2. (A)を調号を用いずに短3度高く移調せよ。
3. (B)を調号を用いて fis moll (嬰ヘ短調)に移調せよ。

(A)

(B)

楽典

昭和音楽大学・昭和音楽大学短期大学部(2025年度・一般)

I.

(イ) _____ (ロ) _____ (ハ) _____ (ニ) _____ (ホ) _____

II.

(イ) _____ (ロ) _____ (ハ) _____ (ニ) _____ (ホ) _____

(A) _____

(B) 

III.

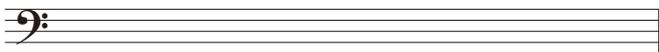
(イ) _____ (ロ) _____ (ハ) _____ (ニ) _____ (ホ) _____

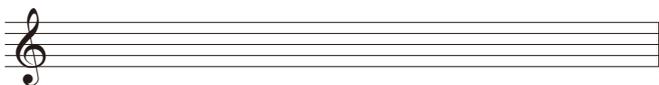
IV.

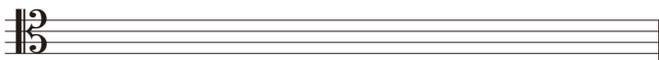
1	2	3	4	5

V.

1. 

2. 

3. 

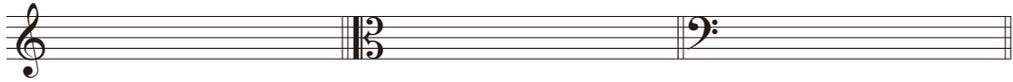
4. 

VI.

1.

2.

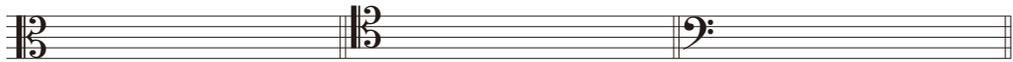
3.



4.

5.

6.



VII.

1.

2.

3.

4.

(a) _____

(b) _____

VIII.

1.

(A) _____ (B) _____

2.



3.

